

たろうっこ



一つでも欠けたら無理 児童・保護者・職員・現地スタッフ

(61号から続く)

は経験がありません。つまり、答志島体験がより豊かになったのは「島旅」の皆さんのおかげだと私は思っています。

今回はもう一つおまけまでありました。それは天候です。この梅雨の時期、しかも前日には80%の降水確率までであったのに、傘を使ったのはたったの5分間だけ。中止した活動は2日目のラジオ体操だけ。お天気で私たちの活動をサポートしてくれました。

つまり、ルールを守る子どもたち、学校を信頼していただいている保護者、子どもたちのプラスになることに取り組もうとした職員、答志島の万全のサポートをしてくれた「島旅」の皆さん(そしてお天道様も)の努力と理解があったからこそ、答志島の宿泊体験ができました。そのうちの一つの条件でも欠けていたら、この行事は成立しませんでした。そして結果としては太郎生小学校の最後の1年の思い出として長く語り継がれることになるでしょう。

今日、学校教育は難しい課題を抱えています。地域や保

護者の信頼を得ることが難しくなっています。

太郎生小学校の子どもたち38人が素晴らしい体験活動を答志島ですることができたのは、保護者の皆さんが学校を応援していただいているからだということ、改めて書かせていただきます。

☆上の写真は1日目、「貝がら拾い」をしたところです。人工物がなく、私は好きなビーチです。磯もあります。

61号の写真は「浮島自然水族館」を体験した後です。無人島です。

お疲れさまでした。そして大変お世話になりました。バスを降りて開口一番、あーあ家に帰りたくなかったの言葉にはあぜんでした。

そして帰宅してから気付きました、すごい日焼けに。リュックを開けると、出るわ出るわ、洗濯物と土産話。夕食には早速アジの開きを頂きました。家族全員絶賛。とっても美味しかったです。そして機関銃のように土産話をしゃべり続けてくれました。

出るわ出るわ洗濯物と土産話

毎日のようにお魚を食べたこと、新鮮ですごくおいしかったこと、楽しい遊びの連続の中でのいろんな発見をしたこと、海水浴で砂風呂に入ったことなどなど。子どもの意外な姿に親の方が戸惑うばかりです。

親の方はと言いますと、HPを幾度となくチェック。これがまた最高に状況がよく分かりとても安心でした。

家族で行きたい

3日間お世話かけました。子どもはとっても喜んで帰ってきました。すぐに釣りの話でした、本を出してきて説明してくれました。

あじの干物も嬉しそうに持って帰りました。いろんな体験をさせていただきありがとうございます。いきました、みんなで行けたから嬉しかったし、いい思い出になります。話を聞いていると家族で行きたくなりました。